

2014年朝日新聞社杯試合要項

1. 試合日程：（フライト・チーム番号は参加者名簿参照）

試合時間については以下の通りです。今年から初日の開始時間が10:30になります。

11日（土） 10:30～12:50（食事休憩40分）13:30～15:50（休憩20分）16:10～18:30

12日（日） 10:30～12:50（食事休憩40分）13:30～15:50（休憩20分）16:10～18:30

13日（祝） 10:00～12:20（食事休憩40分）13:00～15:20（休憩20分）15:40～18:00

☆途中休憩時間を短縮し、開始時間を早めることがあります。

途中から参加される方は余裕を持って会場においで下さい。

☆キャンセルなどによりフライトやチーム番号が変更になる場合があります。

10日（金）夕方にホームページに対戦表を掲載します。会場が変更になる場合のみ直接お知らせします。

試合初日受付にて正規の対戦表をお渡しします。

2. 試合方法：20～26チームによる1試合20ボード、9試合のスイス方式のVP戦。

☆20ボード通して同一ペアと対戦します。

途中チームメイトとスコアをあわせたり、プレイヤーの交代はありません。

☆ホームチーム／ビジティングチームの区別なく、EWペアが対戦相手のテーブルへ移動してプレイを始めていただきます。

もし対戦ペアが決まらない場合はカードドローで勝ったチームが対戦ペアを選ぶ事ができます。

☆第1～第6ラウンドはテーブルのボードをシャフルしてプレイしていただきます（一部例外あり）。

第7～第9ラウンドは事前に組み込んだ共通ボードをプレイしていただきます。

3. 順位の決定方法

I) 各ラウンドのIMP差をWBF20.00VPスケール(20ボード用)によりVPに換算し、9ラウンドの合計VPで順位を決定します。

II) フライトAは最多VP獲得チームが複数ある場合、4ボードのプレーオフを行い獲得IMPの多い順に上位とします。4ボードプレイしてもIMP差がつかなかった場合は1ボードのプレイオフを決着がつくまで繰り返します。マスターポイントに関しては同順位として扱います。

III) その他の順位に関しては、獲得VPが同点のチームは同順位としますが賞品に関しては全試合の得失IMP比率により順位付けしてお渡しします。

フライトB以下では最多VP獲得チームが複数あった場合も全チームを優勝とし翌年招待します。

IV) 同順位のマスターポイントは当該順位に発行されるマスターポイントの平均を全チームに発行します。

4. メンバー変更・キャンセル期限：1月10日（金）正午まで

期限後は上位4人のシードポイント合計が変更前より上回らないメンバー変更は認めますが、参加フライトは変更しません。

試合開始後も上位4人のシードポイント合計が変更前より上回らないメンバー変更は認めますが、すでに1試合でも出場した人の削除や、他のチームで1試合でも出場した人の追加はできません。

5. コンベンション制限

同一のコンベンションカードを各自が1部ずつ携帯のペアは、公認コンベンションリストCまで使用できます。

フライトAでコンベンションカード事前提出ペアは記載のシステム（リストD,E）を使用できます。

使用を許可されたコンベンションカードは、ホームページに掲載します。

相手方のシステムのうち、Brown Stickerと、どちらかのメジャーのウィーク2を示す2♣/2◇オープン（強いハンドを持つ／持たないは自由）に対する自製のディフェンスサマリーを使用する場合は試合開始前までにディレクターに2部提出すること。使用許可を得たサマリーは対戦相手のサマリーの一部となり、試合中に参照できます。

6. 組合せ方法

第1回戦：シードポイント合計順のチーム番号により決定します

偶数チームのフライトは、自チームの番号と（チーム数／2）違いの番号チームと対戦

例）24チーム：1-13, 2-14, 3-15, 4-16, 5-17, 6-18, 7-19, 8-20, 9-21, 10-22, 11-23, 12-24

奇数チームのフライトは、下位シード3チームはトライアングルで対戦し、他のチームは、自チームの番号と[(チーム数-3)／2]違いの番号チームと対戦

例）23チーム：1-11, 2-12, 3-13, 4-14, 5-15, 6-16, 7-17, 8-18, 9-19, 10-20, (21-22-23)

第2回戦以降：常に順位順に 1-2, 3-4, 5-6, 7-8, 9-10, …… と対戦します。

* 第8回戦までは再戦を避けるために対戦を調整します。

* 合計 VP が同点の場合は、前ラウンドまでの IMP 得失点率の大きいチームを上位とします。これも同点の場合は前ラウンドの上位チーム（1回戦は若いチーム番号）を上位とします。

* チーム数が奇数の場合は下位3チームをトライアングルの対戦とします。1チームと10ボードずつ対戦し、2チーム分の合計20ボードのIMP得失点差でVPを決定します。第8回戦までは同一チームとの対戦ボード数の合計が20ボードになるまでは再戦を行います。20ボードを越える場合は対戦の調整を行います。

7. 時間制限

遅いプレイには次の通りボードをキャンセルします。

相手ペアが一方的に遅い場合は、ディレクターにモニターを要請して下さい。

* 10ボードの制限時間（手をつけていないボードをキャンセル） 開始より 65分

* 試合終了の制限時間（報告用紙の提出） 開始より 140分

8. 制限時間に対するペナルティ

I) 遅刻

遅刻のためプレイできなくなったボードに対して（3×ボード数）IMPを対戦相手に与えます。30分以上の遅刻は、不戦敗とします。

II) 遅いプレイ

一方にのみ責任のある場合、制限時間でキャンセルされたボードに対して（3×ボード数）IMPを相手に与えます。

III) 時間延長、その他

制限時間の延長は一切行いません。報告書提出期限にまだ結果の出ていないボードはすべてキャンセル。一方にのみ責任のある場合、キャンセルされたボードに対して（3×ボード数）IMPを相手チームに与えます。

頻繁に遅刻・遅いプレイを繰り返すチームに対しては別途ペナルティを課します。

9. 不戦勝・不戦敗

I) 不戦勝チームには次の内、最大のVPを与えます。

a. 自チームの平均得点 *

b. 相手チームの平均失点 * * 実際に試合を行った全試合を対象とします。

c. 12VP

* 最終ラウンド終了までは不戦勝のラウンドは仮に12VPとして順位を決定します。

II) 不戦敗は0VPになります。

III) 不戦勝チームはメンバーの任意の4名が出場したことにできます。

不戦敗チームは誰も出場しなかったことになりませんが、全試合数は9試合です。

10. マスターポイント

出場数が5試合に満たないメンバーは失格し、MPは発行されません。

11. 競技会費：チーム当り 60,000円

当日参加会場でお支払い下さい。

連盟事務局で事前にお支払いいただく事も可能です。

12. キャプテンと上告

各チームはキャプテンを指名して下さい。特に指名がなければ連絡担当者をキャプテンとします。

上告は規定の用紙で当該セッション終了後30分以内にキャプテンが行って下さい。

13. その他

出場プレイヤーは試合開始から20ボードのプレイ終了まで禁煙です。最終ボード終了前に離席して喫煙すると違反になります。喫煙の違反は2VPの罰則です。

外部と連絡可能な電子機器の使用を禁止します。携帯電話は電源をお切りください。使用違反は2VPの罰則です。着信音のみの場合は初回は厳重注意、2回目以降は2VPの罰則です。

その他運営上必要な決定は、競技担当理事・運営責任者・主任ディレクターが協議の上行ないます。

以 上